

# School Library 11月号

令和5年11月27日発行 担当：図書委員会1年生

期末考査が終わりホッと一息ですね。時間がある方はぜひ図書館へ！  
ところで、読書月間は楽しんでますか？

朝読書の本がないという方は、もちろん図書館をご利用ください！

読書月間は、12月1日（金）まであります。最後までお楽しみください！

(担当： )



## 読書月間のお知らせ



期間：11月2日(木)～12月1日(金) **残り1週間 朝読書を楽しみましょう！**

・ミニ図書館（各学年学習室）開館 10/31 & 11/24

・期間中朝学習の時間は朝読書の時間になる（8：25～8：35）

・図書委員おすすめの本POPで紹介

・期間中各クラス図書館来館者数 & 貸出冊数競争 ⇒ 終了後表彰予定

・図書と給食のコラボ（HAPPY BOOK MENU 11/6 & 11/13）



## 私と読書 先生

読書好きで暇さえあれば本を読み、読む本がなければ何度も読み返していた子供のころの私…。小6まで来ていたサンタさんのプレゼントにも、必ず本が添えられていました。社会人になってからは、時間が取れなかったり、小さい文字が読みづらくなったりしたこともあり、読書離れが進行中です。お店を閉じてしまう本屋さんが増え、気軽に本屋さんに行く機会が減ってしまったことも読書離れのひとつの原因かもしれません。大人になってからの私は、ちょっとした時間にさっさと読める単行本やイラスト多めのかわいい本を選んで読んでいます。

さて、そんな私が紹介する本は、チャールズ・M・ショルツ著、谷川俊太郎訳の『スノーピーともだちって、こういうこと』という本です。いっしょに笑ったり、怖がったり、悩みを聞いたり聞いてもらったり、かばいあったり、チョコレート分け合ったり…。

「友だちってこうだね。」が、今も世界中で愛されるスノーピーやチャーリー・ブラウンなど、おなじみのキャラクターたちのユーモアと優しさにあふれる言葉とイラストで綴られるメッセージ集です。合唱『春に』の作詞者である谷川俊太郎さんの名訳により、ページをめくるたびに思わずクスッと、時にはしんみりと心にしみこみます。読書月間中の朝読書の本としてはおススメできませんが、やはりいいような、いいような「ほんとうの友だちって…」を振り返るのに、おススメしたい元気と癒しの一冊です。  
(担当： )



『スノーピーともだちって、こういうこと』  
チャールズMショルツ著  
＜近日入荷予定＞

## 私と読書 先生

『2時間でおさらいできる日本史』  
石黒弘親 著



小学6年生のころ、電車に乗って習い事に通っていたので、その時間に本を読むようになりました。1～2週間に1冊新しい本を買ってもらってました。私の読書全盛期です。中学生になってからは、精一杯部活に励みました。本をあまり読まなくなりました。高校、大学も同様です。

今はリュックには必ず何かしら本を入れて出かけています。気が向いたら移動中に読んでいます。

11月になり読書月間が始まりました。読書月間用にと、家で本を探し「2時間でおさらいできる日本史」を読むことに決めました。まだ54ページしか読んでいませんが、紹介したいと思います。この本を読んでほしいというより、読書をすることで新しい発見があったので、その話をしたいと思います。

私は1番苦手な科目は歴史だと思っています。覚えることが大変でなかなか勉強する気にならなかった思い出があります。今回、用語を覚えなければというプレッシャーなしに、歴史の流れをざっくりと読み進めてみると、想像以上に面白くて驚いています。さらに、なんとなく用語が頭に残っている感じもしています。今更ながら、歴史は流れを捉えていくことが重要だと気付きました。学生の頃の自分に教えてあげたいです。読書を通して皆さんの人生がより豊かになりますように。

(担当： )

## 図書委員のオススメ本

＜テーマ 秋＞



『小説ちはやふる中学生編』①～④ 時海結以 著 913と（古典文学）

私のお勧めする本は、「小説ちはやふる中学生編」です。

この本は「かるたを続けていたらまた絶対会える」そのような思いで離ればなれになる新と交わした約束を胸に、中学に入学した千早と太一がかるた仲間を探し必死にかるたをするお話です。

この本を秋にお勧めする理由は、百人一首には秋の歌がたくさん載っていて読むととても心が落ち着くからです。  
(担当： )



『秋の牢獄』

恒川光太郎 著 B913つ

「これは11月7日の水曜日の物語だ。アスファルトや草木がさらさらと濡れていくひんやりとした音で、私は目を覚ました。」これは、秋の牢獄というホラー小説の書き出しです。この小説は、女子大生の藍が11月7日の水曜日を何度も繰り返す、その中でループから抜け出す方法を探す本です。みなさんは同じ日が何回も来たらどうしますか。  
(担当： )

『季節をたのしむ366日』

三浦康子 監修 386き

この本はとても読みやすいです。366日分を一日ごとに詳しく書いてあるので、自分の生まれた日や友だちや家族の生まれた日の暦、年中行事などもわかることができます。写真やイラストでわかりやすく書いてあるのでイメージがわきます。毎日楽しく読めるので読書が続きます。

ぜひ読んでみてください。  
(担当： )

